

薬に関する歴史的な貴重資料の寄贈に対し感謝状を贈呈



感謝状を持つ齋藤学長と藤井代表社員ほか関係者
(前列中央左)(前列中央右)



資料館見学の様子
(左から藤井代表社員・松村薬学部長・齋藤学長)

11月27日(月),薬に関する歴史的な貴重資料を薬学教育の教材として寄贈いただいた藤井節子氏(合資会社片峰薬局代表社員)に対し,齋藤学長より感謝状が贈呈されました。

今回寄贈いただいたものは,慶応元年(1865年)に長崎市船大工町に開業し,今日まで四代続く老舗の片峰薬局で実際に使用・保存されていた薬筆筒をはじめとする,薬に関する貴重な歴史的資料です。これを受けて薬学部に「お薬の歴史資料館」が開設され,薬学部学生,大学院医歯薬学総合研究科の大学院生のみならず広く薬学教育関係者等に公開することで,地域社会への貢献の一助となるため,感謝状を贈呈することになったものです。

贈呈式では,齋藤学長より感謝状と記念品が贈呈され,松村薬学部長からは薬学教育への理解と協力に対し,謝辞が述べられました。

贈呈式終了後,藤井氏は,齋藤学長及び片峰学長特別補佐らとともに,新設された「お薬の歴史資料館」を見学し,歴史的な貴重資料を前に和やかに懇談を行いました。

(医歯薬学総合研究科学術協力課)